

## 平成 30 年度第 5 回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	平成 30 年度第 5 回東浦町地域公共交通会議
開催日時	平成 31 年 3 月 25 日（月）午前 9 時 30 分から午前 11 時 25 分まで
開催場所	東浦町役場本庁舎 3 階合同委員会室
出席者・欠席者	別添「平成 30 年度第 5 回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	（1）平成 31 年度東浦町地域公共交通会議予算（案）及び平成 31 年度東浦町地域公共交通会議事業計画（案）について【協議】 （2）平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正（案）及び移動円滑化基準適用除外認定申請について【協議】
その他	なし
傍聴者の数	7 人

### 審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇会長

今回、議題は 2 つである。皆様の意見、ご協力をお願いする。

◆防災交通課長

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、27 名中 23 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 7 名であることを報告する。また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

◆防災交通課長

それでは引き続き議事に入らせていただく。

◇会長

次第に従い議事を進める。議題 平成 31 年度東浦町地域公共交通会議予算（案）及び平成 31 年度東浦町地域公共交通会議事業計画（案）について、事務局から説明を求める。

**議題 平成 31 年度東浦町地域公共交通会議予算（案）及び平成 31 年度東浦町地域公共交通会議事業計画（案）について【協議】・・・資料 1**

◆事務局 A

資料に沿って説明をする。

まずは、資料 1-1 の平成 31 年度東浦町地域公共交通会議予算（案）について説明する。

歳入・歳出予算は 512,000 円である。歳入は、町からの負担金 511,000 円と預金利子の諸収入 1,000 円となっている。歳出は、委員への報償金として会議費 500,000 円、会議用お茶代の食糧費 10,000 円、事務費及び予備費が各 1,000 円となっている。前年度比△2,273,000 円となっているが、平成 30 年度はダイヤ改正のために名古屋大学への委託費が

計上されており、平成 31 年度はそれがなくなったため、大幅な減となっている。

次に、資料 1-2 の平成 31 年度東浦町地域公共交通会議事業計画（案）について説明する。本会議の大まかなスケジュール等について記載がされている。平成 31 年度においては、地域公共交通会議は 4 回開催予定としており、第 1 回を 5 月下旬、第 2 回を 7 月中旬、第 3 回を 12 月上旬、第 4 回を 3 月下旬に予定している。主な議題としては「う・ら・ら」の利用実績や補助金に関する事、平成 31 年度ダイヤ改正などである。

次に「う・ら・ら」の広報・PR 関係と有料広告については、平成 31 年度もハロウィンバスやクリスマスバス、乗り方教室などを実施するとともに、夏休み時期には、子供達に「う・ら・ら」を乗ってもらえるよう、企画乗車券も導入する。また、産業まつりへの出展や新ダイヤにあわせて「う・ら・ら」関連の HP のリニューアルもしたいと考えている。有料広告については、4 月から 9 月分と新ダイヤである 10 月分以降と分けて実施していく予定である。

その他としては、H31 年度ダイヤ改正関係について協議していくとともに、平成 31 年 10 月からの運行事業者選定、公共交通マップ（時刻表）の作成、新規バス停の購入手続きもしていく。また、経路検索サービスの拡充の検討についてだが、利用者の多いグーグルマップへの「う・ら・ら」の導入を検討していきたいと考えている。

次に資料 1-3 の東浦町地域公共交通網形成計画事業の実施状況について説明をする。これは、網形成計画に記載のある実施事業の取組状況の有無について簡単にまとめたものである。内容についての詳細な説明は省かせていただくが、現段階でまだ着手していないというものは公共交通マップ（時刻表）の作成のみとなっており、来年度に着手するという事になっている。

#### ◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

#### ◆委員 A

前回の会議でも少し確認をさせていただいたが、「う・ら・ら」の新ダイヤの最終的な決議というものは、7 月下旬の公共交通会議でされるということになるか？

#### ◆事務局 A

運行事業者の契約の関係もあるため、路線等については今回の会議で決めさせていただきたいと考えている。しかし、その他の細かいことの修正や時刻表・新規バス停のデザイン等についても公共交通会議の場で説明や報告をしていきたいと考えているため、7 月下旬の会議まで、ダイヤ改正関連の議題をあげている。

#### ◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

#### ◆全委員

異議なし。

<p>議題 平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正（案）及び移動円滑化基準適用除外認定申請について【協議】・・・資料 2 から 4</p>
--

#### ◆事務局 A

資料に沿って説明をする。

資料 2-1 のう・ら・ら新ルート（案）を見ていただきたい。前回の会議資料から修正し

た。修正した1点目については、前回の会議の際に意見のあった「高根口」のバス停についてである。前回の会議で、大循環の右回りと左回りという形をとる関係で、「高根口」のバス停が分かりづらく、利用しづらくなるという意見があった。したがって、利用しやすくするため、「高根口」のバス停の一つを「東ヶ丘交流館」と名称を変更するとともに、「高根口公園」というバス停を新しく設置することにした。修正した2点目については、前回の会議で愛知運輸支局から、廃止される路線についての資料及び説明がないと指摘を受けたため、その点を修正した。実質廃止される「平池台線（ふじが丘経由）」について、資料に点線で記載をした。新路線で走っていない部分について合わせて確認していただきたい。

次に資料2-2を見ていただきたい。こちらの資料についても前回の会議資料から修正したものである。変更した点は2点であり、前回会議後に半田警察署交通課の担当者とバス停の現地立ち合いを実施し、場所を変更したこととバス停の追加したことである。まず、場書変更したバス停については、⑧衣浦台、⑪生路コミュニティセンター、⑭ふじが丘、⑰上高根台東、⑱上高根台西、⑳東浦葵の荘となる。ただ、どのバス停も数メートル程度の移動であり、大きな変更ではない。また、追加のバス停については2つあり、⑯平池台については、大循環線の右回りと左回りを運行するため、平池台にもう一つバス停を設置する必要があることを失念していたため、追加させていただいた。⑲高根口公園については、前回の会議で追加した方が望ましい、と意見を出されたため追加した。

次に資料2-3を説明する。こちらの資料も前回の会議資料から修正したものである。修正した点は、刈谷駅から刈谷豊田総合病院に戻るルートについて、前回会議では、刈谷豊田総合病院の東側にある公園の北側を通っていたが、公園の南側を通るようにした。理由としては、運行事業者から公園の南側を通った方がスムーズに運行できると言われたからである。また、このルートについては、刈谷市内を運行することになるため、刈谷警察署の確認が必要となる。本日、急きょ刈谷警察署の交通課の方が欠席となってしまったが、事前に資料も見ていただき、承認をいただいているということをご報告させていただく。

次に資料3-1-1を説明する。こちらの資料についても前回の会議資料から修正したものである。資料の構成については変わっていないため詳細な説明は省かせていただくが、資料3-1-1から資料3-1-4までが各路線等のダイヤ、資料3-2が緒川駅での乗り継ぎ時刻(案)となるので、また中を見ていただきたい。変更した点についてだが、運行事業者である大興タクシーから前回の会議資料のダイヤでは、運転手の休憩時間が短すぎるということと拘束時間が長すぎるのが気になる。時刻表上の休憩時間は取れているように見えていても、実際は、渋滞などにより遅延することが多々あり、法令で定められた休憩時間を確保できない可能性が高い。また、連続運転時間も長くなり、運転手の集中力が低下することにより、安全運転にも支障をきたす可能性があるという意見をいただいた。町としても安全運転を第一に考えなければいけないため、前回の会議ダイヤよりも休憩時間を長くするダイヤに修正させていただいた。緒川駅東口では、基本的には20分程度、長寿医療研究センターと刈谷駅南口では基本的には30分の休憩を取るようになっている。休憩時間を増やしたことにより、各路線にて1~3便程度の減便となっているが、安全運転の確保、法令順守を斟酌し、今のダイヤの形とさせていただいた。

次に資料4を説明する。東浦町の新ダイヤでは、以前から説明しているとおり、小型車両を2台導入予定である。バリアフリー法では、原則として、新規導入する車両は車いす対応等のバリアフリー基準に適合させなければならないとなっている。しかし、本町が導

入予定としている 14 人乗りの車両を車いす対応にすると、乗車可能人数がかなり減ってしまうため、資料に記載のある理由により、公共交通会議で承認を得て、国にバリアフリー基準の適用除外申請をしたいと考えている。

最後に、ダイヤとは少し離れてしまうが、①バス停について、②運賃について、③運行日数について、話をさせていただく。①バス停についてだが、現行のバス停が台風等の強風で倒れやすい形状となっていること、経年劣化が進んでいるバス停が数多くあることから、平成 31 年 10 月のダイヤ改正に合わせて、全てのバス停を変更したいと考えている。バス停のデザイン等については、公共交通会議等で報告をさせていただく予定である。②運賃については、利用者の利便性を考慮し、1 乗車 100 円を維持するとともに、定期券等の価格もそのままの価格で維持していきたいと考えている。③運行日数についてだが、現在「う・ら・ら」は 12 月 31 日、1 月 1 日が運休となっているが、年末年始の利用者数は半減してしまうということ、厳しい財政状況の中、経費縮減を考えなければいけないということ、バス運転手の運転手不足が深刻ということから運転手の労働環境も考えていかなければいけないということから、役場の閉庁日と合わせ、12 月 29 日から 1 月 3 日までを運休にはどうかと考えているということも合わせて報告させていただく。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員 B

ダイヤについてだが、休憩時間を多くしたこととどこの路線が少なくなったのか。

◆事務局 A

どこかというわけではなく、全ての路線で減便となっている。

◆委員 B

大循環の右回りと左回りはどのくらい減ったか。

◆事務局 A

右回りとしては、7 便から 7 便と便数は変わっていないが、資料 3-1-1 を見ていただくと小型②-7 と 2 号車-5 が平池台止まりとなっている。前回会議では緒川駅まで循環していたため、そういった意味で減便となっている。左回りとしては、9 便から 8 便と減便になっている。

◆委員 B

増便になるような調整の余地があるのか確認したい。

◆事務局 B

運転手の労働基準というものが厳しくなっている。その中で、運行事業者と協議をしてダイヤを考えているので、調整するのは難しいのではないかと考えている。

◆委員 C

前回の会議資料では、7 時 5 分に長寿発の便があった。朝早く動きたいという人がいるので残念である。東ヶ丘の方からの長寿直行便が長寿で 20 分休憩を取ることになっている。その休憩時間もとらないといけないか。

◆事務局 A

どこでどの程度遅延があるかわからないということもあり、どこで遅延があっても対応できる休憩時間とし、時刻表上はゆったりとした休憩時間となっている。

◆委員 C

上高根台東の7時35分発の時間を早めることはできないか。

◆事務局 A

この便は刈谷方面への乗り継ぎのことも考慮した時間となっており、今の時間の方が望ましいのではないかと考えている。

◇副会長

右回りについて、午後の便が少なくなっている。左回りの午後の便を少し右回りに回してもいいと思う。

◆事務局 A

左回りの午後の便については、緒川小学校の通学便となっているため、変更するのは難しい。

◇副会長

小型②-2については、同じ時間帯に別のバスが走っているため、回送にして休憩時間を増やしてもいいかもしれない。

また、遅延を前提としたダイヤにするのはおかしい。朝などは渋滞が起りやすいため、ダイヤを変えた方がよい。

◆事務局 A

実際に朝早いダイヤについては、乗用車で試運行させていただいた。曜日などにより、運行時間が変わることから、早発防止等のことも考え、今のダイヤになっているが、再度検討する。

◇副会長

早発防止の件について、バスが停まりやすいところで、ダイヤを調整するとよい。また、話は変わるが、年末年始で利用者が少ないという理由で運休にしてはどうかと知っているが、年末年始でも利用する人はいる。1号車だけ動かすという手もある。加えて緒川小学校の早バスなども土日はほとんど利用されていないと思う。利用者が少ないので、年末年始を運休にするのであれば、土日で運休にした方が効率的になる便もあると思う。そういったことはどのように考えているのか。

◆事務局 A

土日にあまり使われていない便があるというのは事実である。早バスの土日をどうするかなど、もう一度考えさせていただく。

◆委員 D

石浜を運行する小型車両について、県営住宅やアイプラ付近に停まるようにするのは難しいか。

◆事務局 A

現行の衣浦台や石浜西保育園を運行せずにアイプラなどに停まってほしいということか。

◆委員 D

県営住宅やアイプラで乗ってくる人に杖を使っているがいる。そういった方が衣浦台などに移動するのは難しい。

◆事務局 A

事務局としても小型車両を衣浦台と石浜西保育園を通るルートにした方がいいのか、県営住宅やアイプラを通るルートにした方がいいのか検討した。その中で、衣浦台前にある「うららん」に行きたいという要望があること、石浜西保育園で現在乗車している人が少

なくないということから、現在のルートにしている。また、石浜連絡所長や石浜西連絡所長にも話を聞いたところ、現在のルートの方がよいのではないかと意見もいただいたことも理由の一つである。

◇副会長

一般的に言えば、本数の少ないバスというのは、バス停を集約させた方が、利便性は高まる。石浜西保育園を利用している方もアイプラ前で利用できるのであれば、その方がよい。衣浦台については、衣浦台でたくさん乗ってくれるということであればその方がいいが、たくさん乗るかどうかはわからないので、何とも言えないが、同じバス停に多く停まるようにした方がよいと思う。

◆委員 E

衣浦台のバス停については、「うららん」に行きたいという方をよく聞くので、衣浦台のバス停はあった方がよいと思う。

◆事務局 A

関連する連絡所長である、石浜連絡所長と石浜西連絡所長はどのように考えるか。

◆委員 F

衣浦台でも利用があると思うので、今のルートでもいいのではないかと思う。

◆委員 G

いろいろな考え方があると思うが、石浜連絡所長と同じで今のルートでいいのではないかと思う。

◆委員 B

年末年始に運休日を増やしてはどうかと説明があったが、利用者はそれなりにいる。やはりそういった方の足を確保するためにも運休日は増やさないでほしい。

◆事務局 A

年末年始の運行スケジュールについては、再度考えさせていただく。

◇副会長

朝の長寿直行便と小型車両の通学便について、土日は運休か。

◆事務局 A

小型車両の通学便については、小学校の日程に合わせるつもりなので、学校が休みの時は、運休にする予定である。長寿直行便については、土日通常通り運行する予定である。

◇副会長

病院は休みだと思うが、長寿直行便は土日に必要かどうかも考えた方がよい。衣浦台の話では、他の市町でルートを分けて失敗したところを数多く見てきた。東浦町でそういう失敗を見たくないなので、ルートは統一した方がよいと思う。また、緒川小学校南と於大公園南のバス停についてだが、右回りは朝の通学便のみ緒川小学校南を通り、その後はよしだ眼科等に行くために全て於大公園南を通っている。しかし、よしだ眼科などの病院の帰りは左回りのバスとなり、それがない気がするがそれはどう考えているか。

◆事務局 A

左回りは緒川小学校の通学便として必要となってしまうので、緒川新田の方は少し時間がかかってしまうが、右回りのバスで帰っていただければと考えている。

◇副会長

左回りの4号車-4について、平池台に行かず、東ヶ丘マルスなどで引き返して緒川駅方

面に行けば、午後に便数の少ない右回りの補完ができると思うが、どうか。

◆事務局 A

検討する。

◆委員 H

巽ヶ丘駅への乗り入れ等について、今後も検討していくということでもいいか。

◆事務局 A

現状では、乗り入れが難しいという結論となったが、今後、様々な方法を検討し、利便性を高めていければと考えている。

◆委員 A

「う・ら・ら」については、国の幹線補助を受けて運行している。県とも調整して補助金関連の事務を適切に進めていただければと思う。また、バス停の新設についてだが、民地や施設内にバス停を置くところもあると思うが、関係者と協議は整っているか。

◆事務局 A

関係者と調整は行っている。

◇副会長

再度のお願いになるが、遅延を前提にしたダイヤは良くないので、そういったことを調整したダイヤを考えていただきたい。事業者選定のこともあり、早くダイヤを確定させたいということもあるので、4月にもう一度会議を行って確定させてはどうか。

◆事務局 B

事務局としてもそうしたいと考えている。

◇副会長

資料4の話をほとんどしていなかったが、東浦町の中では車いすの方などが移動できる環境はできているか。

◆事務局 A

資料の記載のとおり料金補助制度もあり、利用されている方も少なくはない。また、小型車両以外の車両では、車いすの方も乗車可能であるため、移動環境はあると考えている。

◇会長

細かいダイヤの調整は必要であるが、大枠としては承認いただいたという理解でよろしいか。その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

その他

◇会長

その他で何かあるか？

◆防災交通課長

次回の会議開催予定についてだが、4月下旬に開催したいと考えている。また、人事異動の時期になるため、4月から異動される方もいると思うが、後任の方への引継ぎもしていただければと思う。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。